

平成26年度 北陸地方整備局 第4回事業評価監視委員会 議事録（概要）

1. 日 時 平成26年12月5日（金） 14時00分～16時50分
2. 場 所 テレビ会議
新潟会場：北陸地方整備局 4階 共用会議室
富山会場：富山河川国道事務所 3階 会議室
3. 出席者 委 員：大川委員長、川村委員、池本委員、石黒委員、小熊委員、川邊委員、長谷川委員、細山田委員、水野委員
北陸地整：局長、次長、企画部長、建政部長、河川部長、道路部長、港湾空港部長、営繕部長、用地部長他

4. 審 議

（1）河川事業の再評価

■対応方針（原案）について

以下の事業について審議した結果、北陸地方整備局の再評価及び対応方針（原案）は妥当。

- 小矢部川直轄河川改修事業

■意見

- 特になし。

（2）港湾事業の再評価

■対応方針（原案）について

以下の事業について審議した結果、北陸地方整備局の再評価及び対応方針（原案）は妥当。

- 金沢港大野地区国際物流ターミナル整備事業
- 輪島港輪島崎地区避難港整備事業

■意見

- 特になし。

（3）道路事業の事後評価

■今後の事後評価及び改善措置の必要性等について

以下の事業について審議した結果、次のとおりとなった。

- 国道7号新新バイパス
- 国道113号松浜橋上流橋
- 国道41号南富山拡幅
- 国道8号南郷拡幅
- 国道159号津幡バイパス

今後の事後評価及び措置の必要性、事業評価手法の見直しの必要性はないものと判断する。

■意見

- ビックデータを用いて更なる確認に努める事とは、色々な観点で効果等を確認・評価して行くと言う事に繋がり、新規事業化時に新たな視点を与えてくれるなど、重要な事だと考える。

(4) 営繕事業の再評価

■今後の事後評価及び改善措置の必要性等について

以下の事業について審議した結果、次のとおりとなった。

○ 新潟第2地方合同庁舎（Ⅱ期）

今後の事後評価及び措置の必要性、事業評価手法の見直しの必要性はないものと判断する。

■意見

- 今後の検討事項は引き続き検討されたい。